

Collaboration Edge の最も一般的な問題

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ログイン問題](#)

[MRA によってサインインにない Jabber](#)

[1.作成されないコラボレーション エッジサービス 到達不能レコード \(SRV \) および/またはポート 8443](#)

[2. VCS Expressway の受け入れられなくか利用可能な 認証無し](#)

[3. エッジ設定で見つけられる UDS サーバ無し](#)

[4. ExpresswayC ログはこのエラーを示します: 「%IP%」をホストするために接続することが不可能な XCP JABBERD Detail= "」拒否されるポート 7400:\(111\) 接続](#)

[5.設定されるものが collab-edge SRV で VCE-E サーバ ホスト名/ドメイン名は一致する](#)

[6.ある特定の IM&P サーバにログイン することが不可能- Expressway ログはエラーを表示する](#)

[7.既存の WebEx 接続応答サブスクリプションが理由でログインにない](#)

[登録問題](#)

[Softphone は登録許可されない SIP/2.0 405 方式できません](#)

[設定の要約](#)

[Softphone はできません登録 Reason= "未知ドメイン"](#)

[Softphone はできません登録アイドル状態の秒読み推論するために「切れる」](#)

[LSC と提供された場合 Jabber および Expressway-E にレジスタにない EX クライアント](#)

[メディア問題](#)

[MRA によって呼出す場合のメディア無し](#)

[呼出し無し場合の MRA への PSTN 上のコール](#)

[Expressway 中枢的な問題](#)

[ExpresswayC は「XMPP ルータを表示するかもしれません: 非アクティブ」エラー](#)

[CUCM および IM&P 問題](#)

[CUCM は追加されることを防ぐ ASCII エラー](#)

[ExpresswayC からのセキュア配備の CUCM への 5061 の送信 TLS 失敗](#)

[追加されない IM&P 見つけられるサーバおよびエラー](#)

[見つけられる XCP サーバエラー](#)

[いろいろな問題](#)

[Jabber クライアントの音声メール ステータスは「接続されなくて示します](#)

[連絡先フォトは Expressway を通って Jabber クライアントで現われません](#)

[Jabber クライアントはログインの間に Expressway-E 認証を受け入れるためにプロンプト表示されます](#)

[関連情報](#)

概要

コラボレーション エッジ/モバイル及びリモートアクセス (MRA) は Jabber 仮想 な 私用ネットワークなしの (VPN) 機能のための配備ソリューションです。このソリューションはエンドユーザが内部 企業リソースに世界中どこからでも接続することを可能にします。このガイドはすぐに識別するためにコラボレーション エッジ ソリューションを機能解決し、最も一般的な問題 顧客を解決するために配備句の間に直面しなさいエンジニアを与えるために書かれていました。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)
- Cisco Expressway Core
- Cisco Expressway Edge
- Cisco IM および存在 (IM&P)
- Cisco Jabber for Windows
- Cisco Jabber for Mac
- Cisco Jabber for Android
- Cisco Jabber for iOS
- セキュリティ 認証
- ドメイン ネーム システム (DNS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ビデオ コミュニケーション コミュニケーション・ サーバ (VCS) バージョン X8.1.1 またはそれ以降
- VCS Control と VCS Expressway、または Expressway Core と Expressway Edge
- CUCM リリース 9.1(2)SU1 またはそれ以降および IM 及び P バージョン 9.1(1) または それ以降
- Cisco Jabber バージョン 9.7 または それ 以降

ログイン問題

MRA によってサインインにない Jabber

この現象は少数がここに説明されている問題の広範囲によって引き起こされる場合があります。

1.作成されないコラボレーション エッジサービス 到達不能レコード (SRV) および/またはポー

ト 8443

MRA とログインにできる正常に Jabber クライアントに関しては特定のコラボレーション エッジ SRV レコードは外部に作成され、アクセス可能である必要があります。Jabber クライアントが最初に開始するとき、それは DNS SRV クエリを送信します:

1. **_cisco-uds**: この SRV レコードは CUCM サーバが利用できたかどうか確認するために使用されます。
2. **_cuplogin**: この SRV レコードは IM&P サーバが利用できたかどうか確認するために使用されます。
3. **_collab-edge**: この SRV レコードは MRA が利用できたかどうか確認するために使用されます。

Jabber クライアントが開始し、**_cisco-uds** および **_cuplogin** のための SRV 返事を受信しないし、**_collab-edge** のための返事を受信すれば、SRV 返事にリストされている Expressway-E に連絡することを試みるのにこの返事を使用します。

_collab-edge SRV レコードはポートとの Expressway-E の完全修飾ドメイン名 (FQDN) を **8443** 指す必要があります。**_collab-edge** SRV が、または外部に利用できなければ作成されなければ、またはそれが利用可能、ポート 8443 であるが到達可能でなければ、Jabber クライアントはログインに失敗します。

2. VCS Expressway の受け入れられなくか利用可能な 認証無し

Jabber クライアントが **_collab-edge** のための返事を受信した後、Jabber クライアントと Expressway 間の通信のための TLS を設定するために Expressway から認証を取得することを試みるようにポート 8443 上の Transport Layer Security (TLS) の Expressway がによってそれから接触します。

Expressway が Expressway の FQDN かドメインが含まれている有効な署名入り認証を備えなければ、これは失敗し、Jabber クライアントはログインに失敗します。

この問題が発生する場合、顧客は認証対象代替名 (SAN) として自動的に Expressway の FQDN を含む Expressway の証明書署名要求 (CSR) ツールを使用する必要があります。

注: MRA は ExpresswayC と Expressway-E と Expressway-E と外部エンドポイント間のセキュアコミュニケーションを必要とします。

ExpresswayC サーバ証明要件:

- IM&P サーバで設定される **チャット ノード エイリアス**。拡張可能なメッセージングおよび存在プロトコル (XMPP) フェデレーションを行う場合これが必要となります。ExpresswayC は CSR に IM&P サーバが ExpresswayC で既に検出されていたら自動的にこれらを含める必要があります。
- TLS のために設定され、MRA に設定されるデバイスで使用する CUCM のすべての **電話セキ**

ユリティブロファイルの FQDN 形式の名前。これはそれらの電話セキュリティプロファイルを使用するデバイスのための CUCM と ExpresswayC 間のセキュアコミュニケーションを可能にします。

Expressway-E サーバ証明要件:

1. Unified Communication のために設定されるすべてのドメイン。これには Expressway-E および C のドメイン、Jabber のために設定される eメールアドレス ドメインおよび存在ドメインが含まれています。
2. IM&P サーバで設定されるチャット ノード エイリアス。XMPP フェデレーションを行う場合これが必要となります。

[MRA 配置ガイド](#)はページのこの問題を 17-18 さらに詳しく記述します。

3. エッジ設定で見つけられる UDS サーバ無し

Jabber クライアントが Expressway-E の信頼できる接続をうまく確立した後、エッジ設定 (`get_edge_config`) を頼みます。このエッジ設定は `_cuplogin` および `_cisco-uds` のための SRV レコードが含まれています。これらの SRV レコードがエッジ設定で戻らない場合、Jabber クライアントはログオンを続行できません。

`_cisco-uds` および `_cuplogin` SRV レコードが ExpresswayC によっておよび解決可能内部で作成されることをこれを固定するために、確かめて下さい。

DNS SRV レコードに関する詳細は [X8.5 のための MRA 配置ガイド](#) のページで 10 見つけることができます。

これはまた二重ドメインにある場合よくみられる症状です。二重ドメインで動作し、Jabber クライアントを戻されなければあらゆるユーザのデータ サービス (UDS) 見つけられ、続きます [設定に関する注記](#) の DNS セクションに設定を確認して下さい: [マルチドメイン配備の Expressway/VCS によるモバイルおよびリモートアクセス](#)。

4. ExpresswayC ログはこのエラーを示します: 「%IP%」をホストするために接続することが不可能な XCP_JABBERD Detail= "」拒否されるポート 7400:(111) 接続

Expressway-E Network Interface Controller (NIC) が間違っって設定されている場合、これは拡張可能な通信プラットフォーム (XCP) サーバを更新済にする場合があります。Expressway-E がこれらの条件を満たす場合、おそらくこの問題に出会います:

1. 単一 NIC を使用します。
2. Option 鍵高度ネットワーキングはインストールされています。
3. 使用二重ネットワーク インターフェイス オプションは **はい** に設定されます。

この問題を訂正するために、使用二重ネットワーク インターフェイス オプションを **いいえ** 変更して下さい

これが問題の原因は Expressway-E が接続/タイムアウト失敗するために引き起こす間違っったネットワーク インターフェイスの XCP セッションを聞き取るということであるといえます。Expressway-E は XCP セッションを TCP ポート 7400 で聞き取ります。ルートとして VCS からの `netstat` コマンドを使用する場合これを確認できます。

5.設定されるものが_collab-edge SRV で VCE-E サーバ ホスト名/ドメイン名は一致する

受け取られたものが_collab-edge SRV 返事で Expressway-E サーバ ホスト名/ドメイン名が一致する、Jabber クライアントは Expressway-E と通信できません。Jabber クライアントは `get_edge_config` 応答で `xmppEdgeServer/Expressway-E` への XMPP 接続を確立するのにアドレス要素を使用します。

これは `xmppEdgeServer/アドレス` が Expressway-E からの Jabber クライアントへの `get_edge_config` 応答をのように見えるものの例です:

```
<xmppEdgeServer>
<server>
<address>examplelab-vcse1.example.com</address>
<tlsPort>5222</tlsPort>
</server>
</xmppEdgeServer>
```

_collab-edge SRV レコードが Expressway-E ホスト名/ドメイン名と一致することをこれを避けるために、確かめて下さい。拡張 [CSCuo83458](#) はこれのためにファイルされました。

6.ある特定の IM&P サーバにログイン することが不可能- Expressway ログはエラーを表示する

Expressway ログはこれらのエラーの 1 つを表示する:

```
"No realm found for host cups-example.domain.com, check connect auth configuration" Module="cm-1.expressway-edge-example-com" Level="INFO " CodeLocation="SASLManager.cpp:198" Detail="Failed to query auth component for SASL mechanisms"
```

ExpresswayC から、**設定 > Unified Communication > IM&P サーバ**に行ってください。チェックボックスを各 IM&P サーバの隣で選択し、サーバを『Refresh』をクリックして下さい。

注:これが問題を解決しない場合、IM&P サーバの XCP ルータはまた再始動する必要があります。

7.既存の WebEx 接続応答サブスクリプションが理由でログインにない

Jabber for Windows ログはこれを示します:

```
2014-11-22 19:55:39,122 INFO [0x00002808] [very\WebexCasLookupDirectorImpl.cpp(134)]
[service-discovery] [WebexCasLookupDirectorImpl::makeCasLookupWhenNetworkIs
Available] - makeCasLookupForDomain result is 'Code: IS_WEBEX_CUSTOMER; Server:
http://loginp.webexconnect.com;
Url: http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=example.com';;.2014-11-22
19:55:39,122 INFO [0x00002808] [overy\WebexCasLookupDirectorImpl.cpp(67)]
[service-discovery] [WebexCasLookupDirectorImpl::determineIsWebexCustomer] -
Discovered Webex Result from server. Returning server result.2014-11-22 19:55:39,122
DEBUG [0x00002808] [ery\WebexCasLookupUrlConfigImpl.cpp(102)]
[service-discovery] [WebexCasLookupUrlConfigImpl::setLastCasUrl] - setting last_cas_
lookup_url : http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=example.com2014-11-22
19:55:39,123 DEBUG [0x00002808] [pters\config\ConfigStoreManager.cpp(286)]
[ConfigStoreManager] [ConfigStoreManager::storeValue] - key : [last_cas_lookup_url]
value : [http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=example.com]2014-11-22
19:55:39,123 DEBUG [0x00002808] [common\processing\TaskDispatcher.cpp(29)]
[TaskDispatcher] [Processing::TaskDispatcher::enqueue] - Enqueue ConfigStore::persist
```

Values - Queue Size: 02014-11-22 19:55:39,123 DEBUG [0x00002808] [pters\config\ConfigStore Manager.cpp(140)]

[ConfigStoreManager] [ConfigStoreManager::getValue] - key : [last_cas_lookup_url]
skipLocal : [0] value: [<http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?orq=example.com>]
success: [true] configStoreName: [LocalFileConfigStore]

ログイン試行は WebEx 接続応答に指示されます。

常置解決に関しては、サイトを解放してもらうために [WebEx](#) に連絡して下さい。

回避策 :

短期的に、ルックアップからそれを除くこれら二つのオプションの 1 つを利用できます。

- jabberconfig.xml にこのパラメータを追加して下さい。それから CUCM の TFTPサーバに jabberconfig.xml ファイルをアップロードして下さい。クライアントが内部で最初にログオンすることを必要とします。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>  
<config version="1.0">  
<Policies>  
<ServiceDiscoveryExcludedServices>WEBEX<  
/ServiceDiscoveryExcludedServices>  
</Policies>  
</config>
```

- アプリケーション観点から、これを実行して下さい: `msiexec.exe /i CiscoJabberSetup.msi /quiet CLEAR=1 AUTHENTICATOR=CUP EXCLUDED_SERVICES=WEBEX`

注: 第 2 オプションはモバイルデバイスのためにはたきません。

登録問題

Softphone は登録許可されない SIP/2.0 405 方式できません

ExpresswayC からの診断 ログは Jabber クライアントが送信する登録要求に応じて SIP/2.0 405 方式許可されなかったメッセージを表示します。これはポート 5060/5061 を使用して ExpresswayC と CUCM 間の既存のセッション開始プロトコル (SIP) トランクが多分原因です。

SIP/2.0 405 Method Not Allowed

```
Via: SIP/2.0/TCP 10.10.40.108:5060;egress-zone=CollabZone;branch=z9hG4bK81e7f5f1c1  
ab5450c0b406c91fcbdf181249.81ba6621f0f43eb4f9c0dc0db83fb291;proxy-call-id=da9e25aa-  
80de-4523-b9bc-be31ee1328ce;rport,SIP/2.0/TLS 10.10.200.68:7001;egress-zone=Traversal  
Zone;branch=z9hG4bK55fc42260aa6a2e3741919177aa84141920.a504aa862a5e99ae796914e85d35  
27fe;proxy-call-id=6e43b657-d409-489c-9064-3787fc4919b8;received=10.10.200.68;rport=  
7001;ingress-zone=TraversalZone,SIP/2.0/TLS  
192.168.1.162:50784;branch=z9hG4bK3a04bdf3;received=172.18.105.10;rport=50784;  
ingress-zone=CollaborationEdgeZone  
From: <sip:5151@collabzone>;tag=cb5c78b12b4401ec236e1642-1077593a  
To: <sip:5151@collabzone>;tag=981335114  
Date: Mon, 19 Jan 2015 21:47:08 GMT  
Call-ID: cb5c78b1-2b4401d7-26010f99-0fa7194d@192.168.1.162  
Server: Cisco-CUCM10.5
```

CSeq: 1105 REGISTER

Warning: 399 collabzone "SIP trunk disallows REGISTER"

Allow: INVITE, OPTIONS, INFO, BYE, CANCEL, ACK, PRACK, UPDATE, REFER, SUBSCRIBE, NOTIFY

Content-Length: 0

この問題を解決するために、CUCM で設定される既存の SIP トランクおよび 5065 のような異なるポートへの CUCM のための ExpresswayC 隣接ゾーンに適用される SIP トランク セキュリティプロファイルの SIP ポートを変更して下さい。これはページの 39 [MRA 配置ガイド](#)で更に説明されます。

設定の概要

CUCM :

1. 5060 以外リスニングポートで新しい SIP トランク セキュリティプロファイルを作成して下さい (5065)。
2. ExpresswayC IP アドレスに設定される SIP トランク セキュリティプロファイルおよび宛先に関連付けられる SIP トランクをポート 5060 作成して下さい。

ExpresswayC:

1. 5060 以外ターゲットポートで CUCM に隣接ゾーンを作成して下さい (5065) CUCM 設定を一致するため。
2. ExpresswayC 設定 > プロトコル > SIP では、ExpresswayC がまだ SIP を 5060 で聞き取ることを確かめて下さい。

Softphone はできません登録 Reason= "未知ドメイン"

ExpresswayC からの診断 ログは Event= "登録によって拒否される" Reason= "未知ドメイン" Service= " SIP" Src-ip= " XXX.XXX.XXX.XXX" Src-port="51601" Protocol= " TCP" AOR= "ー口を示します: XXX.XXX.XXX.XXX" 。

この問題を解決するために、これらのポイントをチェックして下さい:

- Jabber クライアントは CUCM で意図が非セキュア デバイスセキュリティ プロファイルを使用するときセキュア デバイスセキュリティ プロファイルを使用しますか。
- Jabber クライアントが保護されたデバイスセキュリティ プロファイルを使用する場合、FQDN 形式のセキュリティプロファイルの名前は SAN で Expressway C の認証にその FQDN 名前設定されますあり、か。
- Jabber クライアントが System > Enterprise Parameters > Security パラメータ > クラスタ セキュリティモードに保護されたデバイスセキュリティ プロファイルを、ナビゲート使用し、CUCM クラスタは保護されたことを確認するためにクラスタ セキュリティモードは 1 に設定されることを確認すれば。値が 0 である場合クラスタを保護することを、管理者は文書化されています プロシージャを通過する必要があります。

Softphone はできません登録アイドル状態の秒読み推論するために「切れる」

検討するとき Expressway-E は Jabber クライアントがレジスタ メッセージで送信 する時間枠の間にコード スニペットに示すように、アイドル状態の秒読みによって切られるエラーにここに

出会うかもしれません記録します。

```
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211"  
Dst-ip="VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connecting"  
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Established"2015-02-02T19:46:49+01:00  
collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:49,606"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="92.90.21.82" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Closed" Reason="Idle  
countdown expired"
```

この断片はファイアウォールに開いたポート 5061 があることを示します; ただし、アプリケーション層トラフィックがありません十分時間に渡される従って TCP 接続が閉じる。

この状況に遭遇する場合、Expressway-E の前のファイアウォールにつく SIP インспекション /アプリケーション層ゲートウェイ (ALG) 機能性がある高度の確率があります。remediate この問題、diabile この機能性なります。これをする方法の不確実である場合ファイアウォールベンダーの製品マニュアルを参照する必要があります。

SIP Inspection/ALG に関する詳細については、[VCS コントロールおよび Expressway 基本的な配置ガイド \(55 \)](#) ページの付録 4 を参照できます。

LSC と提供された場合 Jabber および Expressway-E にレジスタにない EX クライアント

この問題を訂正するために、Expressway-E 信頼リストに CAPF.pem 認証を認証局 (CA) アップロードして下さい。

メディア問題

MRA によって呼出す場合のメディア無し

NAT が設定されている単一 NIC 配備ではこれらのパラメータはまたは正しく設定されなくて抜けています:

- ヘアピンにファイアウォールにシグナリングを与える ExpresswayC は Expressway-E のパブリックIPアドレスを指されません。
- TLS のための Expressway-E の FQDN を指している場合、FQDN が Expressway-E のパブリックIPアドレスに解決する必要があることを確認して下さい。
- これらは Expressway-E で設定されません:

```
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211"  
Dst-ip="VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connecting"  
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Established"2015-02-02T19:46:49+01:00
```



```
collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:49,606"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="92.90.21.82" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Closed" Reason="Idle  
countdown expired"
```

これに関する詳細は [VCS コントロール及び Expressway 配置ガイド](#) のページで 63 見つけることができます。

呼出し無し場合の MRA への PSTN 上のコール

この問題はバージョン x8.5 前に Expressway の制限が原因です。ExpresswayC が 183 セッション処理進行中のアーリーメディア (early media) をか走査ゾーンを渡って鳴る 180 のように転送しないか Cisco バグ ID [CSCua72781](#) は記述します。バージョン x8.1.x か x8.2.x を実行する場合、バージョン x8.5 にアップグレードするか、または代わりにここにリストされている回避策を実行できます。

180 に 183 を回すで、着信ダイヤルピアでそれを適用します SIP プロファイルを作る場合の回避策を Cisco Unified Border Element (CUBE) 使用することは可能性のある。次に、例を示します。

```
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211"  
Dst-ip="VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connecting"  
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Established" 2015-02-02T19:46:49+01:00  
collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:49,606"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="92.90.21.82" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Closed" Reason="Idle  
countdown expired"
```

その後それらはの SIP プロファイル CUCM > CUBE がーロ ua コンフィギュレーションモード内の CUBE の 180 のアーリーメディア (early media) を自体デisableにします。

```
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211"  
Dst-ip="VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connecting"  
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Established" 2015-02-02T19:46:49+01:00  
collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:49,606"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="92.90.21.82" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Closed" Reason="Idle  
countdown expired"
```

Expressway 中核的な問題

ExpresswayC は「XMPP ルータを表示するかもしれませんが: 非アクティブ」エラー

設定を完了した後このエラーに出会うかもしれません:

Status

XMPP router: Inactive

このエラーはここに記述されている複数の異なる原因で発生する場合があります:

- 統一された CM は ExpresswayC/E で有効になりません保守します。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

設定 > ゾーン > ゾーン > 走査ゾーンへのナビゲート。SIP セクションの下で Communications 統一されたサービスのために『Yes』を選択して下さい。[Save] をクリックします。

- LAN2 はアクティブ Expressway-E で使用中でありではない。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

Expressway-E からの **System > IP** へのナビゲート。使用二重ネットワーク インターフェイスパラメータのために『No』を選択して下さい。

- SIP ドメインは ExpresswayC で定義されませんでした。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

設定 > ドメインへのナビゲート > 新しい。ドメインを追加し、**統一された CM および IM の SIP 登録およびプロビジョニングおよび統一された CM の存在サービスをオン**にして下さい。ドメインを作成して下さい。

- ExpresswayC IM および統一された CM の存在サービスはつきません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

設定 > ドメインに > 選択しますドメインをナビゲートして下さい。に**統一された CM の IM および存在サービスを設定**して下さい。[Save] をクリックします。

- ExpresswayC と Expressway-E 間の走査ゾーンはセキュアではないです。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

走査が強制するために暗号化されて設定されるようにして下さい。認証と一致するように Expressway-E およびない IP アドレスのホスト名への ExpresswayC のピアアドレスが設定されるようにして下さい。

CUCM および IM&P 問題

CUCM は追加されることを防ぐ ASCII エラー

ExpresswayC に CUCM を追加するとき、CUCM は追加されることを防ぐ ASCII エラーに出会います。

ExpresswayC はデータベースに CUCM を追加するとき、機能を得、リストするために関連している一連の AXL クエリによって動作します。これらの例は `getCallManager`、`listCallManager`、`listProcessNode`、`listProcessNodeService` および `getCCMVersion` が含まれています。`getCallManager` プロセスが動作した後、すべての CUCM コール マネージャ信頼か Tomcat 信頼を取得することを設定される `ExecuteSQLQuery` によって成功します。

CUCM がクエリを受信し、それで実行すれば、CUCM はそれから認証すべてを報告します。認証の 1 つは ASCII 文字以外文字が含まれている場合、Expressway は ASCII コーデックと同じような Web インターフェイスのエラーを位置 42487 のバイト 0xc3 をデコードできません生成します: `range(128)` の序数ない。

この問題は Cisco バグ ID [CSCuo54489](#) とトラッキングされ、バージョン x8.2 で解決されます。

ExpresswayC からのセキュア配備の CUCM への 5061 の送信 TLS 失敗

この問題は CUCM の自己署名証明書をおよび `Tomcat.pem/CallManager.pem` が持っている同じ事項を使用すると発生します。問題は Cisco バグ ID `CSCun30200` と当たります。問題を解決する回避策は [ExpresswayC の CUCM 設定から確認します tomcat.pem およびディセーブル TLS を削除することです。](#)

追加されない IM&P 見つけられるサーバおよびエラー

IM&P サーバを追加するとき、ExpresswayC は「このサーバできません IM および存在サーバ」をまたは「追加されない IM&P サーバという結果に終る .AXL クエリー HTTP エラー "HTTPError:500" と通信することが報告します。

IM&P サーバの付加の一部として、ExpresswayC は AXL クエリを明示的な ディレクトリの IM&P 認証を探すのに使用します。 [CSCul05131](#) を逃走すること当然認証はそのストアにありません; 従って、False エラーに出会います。

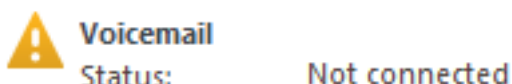
見つけられる XCP サーバエラー

「非アクティブ 到達可能を読むが、接続はアップしません Unified Communication、XCP サーバ エラー ディスプレイ > ステータスの下で ExpresswayC で。パスワードを」確認して下さい。

ソリューションは両方の Expressway をリブートすることです。

いろいろな問題

Jabber クライアントの音声メール ステータスは「接続されなくて示します



Jabber クライアント音声メール ステータスを接続させます正常に ExpresswayC の HTTPサーバ

ホワイトリスト内の Cisco Unity Connection IP アドレス または ホスト名を設定して下さい。

これを ExpresswayC から完了するために、関連したプロシージャを行って下さい:

バージョン x8.1 および x8.2 のためのプロシージャ

1. > Unified Communication > 設定 > 設定 HTTPサーバ割り当てリスト 『Configuration』 をクリックして下さい。
2. IP/ホスト名 > Create エントリを 『New』 をクリックして下さい > 入力して下さい。
3. Jabber クライアントのログアウトは、それから記録し。

バージョン x8.5 のためのプロシージャ

1. > Unified Communication > Unity Connection サーバ 『Configuration』 をクリックして下さい。
2. IP/ホスト名を、ユーザアカウント 資格情報 > Add アドレス 『New』 をクリックして下さい > 入力して下さい。
3. Jabber クライアントのログアウトは、それから記録し。

連絡先フォトは Expressway を通って Jabber クライアントで現われません

モバイル及びリモートアクセス ソリューションは連絡先フォト解決のための UDS だけを utilizes。これは利用可能な Webサーバがフォトを保存するためにあることを必要とします。設定自体は二重です。

1. jabberconfig.xml は連絡先フォト解決のための Webサーバにクライアントを指示するために修正する必要があります。この設定はこれを実現させる必要があります。

```
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211"  
Dst-ip="VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connecting"  
2015-02-02T19:46:31+01:00 collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:31,144"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="JabberPubIP" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Established"2015-02-02T19:46:49+01:00  
collabedge tvcs: UTCTime="2015-02-02 18:46:49,606"  
Module="network.tcp" Level="DEBUG": Src-ip="92.90.21.82" Src-port="4211" Dst-ip=  
"VCS-E_IP" Dst-port="5061" Detail="TCP Connection Closed" Reason="Idle  
countdown expired"
```

2. ExpresswayC は HTTPサーバ割り当てリストの内にリストされている Webサーバがなければなりません。

> Unified Communication > 設定 > 設定 HTTPサーバ割り当てリスト 『Configuration』 をクリックして下さい。IP/ホスト名 > Create エントリを 『New』 をクリックして下さい > 入力して下さい。Jabber クライアントのログアウトは、それから記録し。

注: UDS 連絡先フォト解決に関する詳細については、[Jabber 連絡先フォト シスコのドキュメント](#)を参照して下さい。

Jabber クライアントはログインの間に Expressway-E 認証を受け入れるためにプロンプト表示されます



Certificate not valid

Your computer cannot confirm the identity of this server.

This could be an attempt by an unknown party to connect to your computer and access confidential information.

If you are not sure if you should continue, contact your system administrator. Tell the administrator that Cisco Jabber is prompting you to accept the rtp-tbtp-exprwy-e.tbtp.local certificate.

Show Certificate

Accept

Decline

Jabber クライアントを Expressway 認証を受け入れるプロンプトから停止するために下記に記載されている 2 criteria に会って下さい:

- Jabber クライアントを実行するデバイス/マシンは証明書信頼ストアの内にリストされている Expressway-E 認証の署名者を備えなければなりません。

注: これはモバイルデバイスが大きい証明書信頼ストアが含まれているので公共認証局を使用する場合簡単に達成することができます。

- collab エッジ レコードに使用する外部ドメインは Expressway-E 認証の SAN の内である必要があります。

注: Jabber クライアントはこのドメインをそれを受け取るとき SAN を捜します。 ない場合、それを受け入れるためにプロンプト表示します。

関連情報

- [Cisco VCS による Unified Communication モービル及びリモートアクセス](#)
- [Cisco TelePresence VCS 認証作成および使用 配置ガイド](#)
- [Cisco TelePresence Video Communication Server \(VCS \) \(Cisco VCS \) ファイアウォール横断のための IP ポート 使用方法](#)
- [Cisco Jabber のための 配備およびインストールガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)